

## ■藤沢都市計画「都市再開発の方針」における位置づけ

片瀬江ノ島駅周辺地区(約4ha)については、藤沢都市計画の再開発方針、一号市街地に位置づけられており、再開発の目標を次のように定めています。

### ●再開発の目標

レクリエーション、リゾート、文化、観光交流活動の都市拠点の玄関口にふさわしい、個性・魅力のある都市空間の形成を図る。

### ●土地の高度利用及び都市機能の更新に関する方針

土地利用については、目標に示した都市拠点の玄関口にふさわしい土地利用と土地の合理的な高度利用を図るため、都市基盤施設整備を進める。

都市施設については、片瀬江ノ島駅の改築、駅前広場及び駅前通り線の再整備、境川緑地の整備等を行う。

景観等の維持及び改善については、目標に示した都市拠点の玄関口にふさわしい都市景観形成を図る。



## ■片瀬地域からの提言・要望

### ■「観光地片瀬江ノ島の玄関口を考える会」からの提言・要望

「観光地片瀬江ノ島の玄関口を考える会」は地元商業者、自治会、関係団体が正会員だが、藤沢市も神奈川県や警察関係機関とともにオブザーバーとして参加。交通事業者は協力会員として参加している。

#### ●2003年11月21日の提言

提言1：駅前広場や道、商店街を快適で美しい場所にし、魅力的な回遊動線となるサイン整備、ミニバスの導入検討。これらの段階的な整備など。

提言2：片瀬江ノ島駅前の段階的な整備に向けた地方公共団体等の主導的な役割、官民協力連携した体制づくり。

#### ●2005年1月28日の提言

提言1：(1)片瀬江ノ島駅前広場等整備計画の分科会提言

- ・交通広場として必要な空間の確保
- ・観光客など来街者の起点とする(総合案内板の設置や情報発信など)
- ・環境整備を推進する仕組みづくり
- ・許容量を超えている駐輪場の対応策協議
- ・小田急線の駅の切符売り場等の形態やデザインの協議

(2)ミニバス計画の分科会提言

- ・ミニバス運行ルート、運行時間などの検討
- ・専用レーンの設置など運用実施の可能性検討
- ・自動車の乗り入れ規制なども含めた総合的な交通管理システムの検討

(3)サイン計画の分科会提言

- ・サインの配置や文字表記の工夫。各駅や商店街のサイン等の連携
- ・総合案内板の設置、屋外広告物の規制誘導

提言2：公共団体が先導して駅周辺の将来像の検討具体化、仕組みづくりを行う  
構想、計画、事業等の情報発信、パートナーシップの構築、規制誘導手法の構築